

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 金沢市立額小学校 ] 担当教諭名 [ 吉本 敦子 ] ( 6年1組 29名 )

交流相手国 [ アラブ首長国連邦 ]

海外学校名 [ Dubai International Academy ] 担当教諭名 [ Anupama Ramachandran ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢を知り、日本を知り、世界を知ろう	30

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お互いの伝統文化を伝えよう
絵に込めたメッセージ	相手の国に伝えたい、我が国の文化や自然、歴史を描いた。金沢の伝統や魅力を伝えるとともに、左右に分かれた壁画にハンドプリントを描くことで相手国とつながる気持ちを伝えたいと考えた。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識をもって英語で自己紹介や絵の内容を伝えることができた。</li> <li>・調べたことを、分かり易く伝えるため、工夫することができた。</li> <li>・グループで協力して作業を進めることができた。</li> <li>・海外の国に興味をもち、世界への視野を広げることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時差の関係で直接交流ができなかったため、相手校や相手児童のことがよくわからないまま進めてきた。担任の英語力に不安があり児童に相手校の様子を伝えきれず来たことが反省として残る。</li> <li>・交流のねらい、学ぶべきことについて、もっと児童の間で強く意識させたかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・UAE はお金持ちの国であるという児童の印象であったため、日本との違いがクローズアップされにくかった。そこで、アフリカの発展途上国(エチオピア)の紹介を行ったところ、いろいろな国があることを理解できたようだ。</li> <li>・日本と大きく違う環境でもたくましく生きている子どもたちがいることを知り、自分たちもがんばろうという思いをもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語での交流の難しさ。文字データだけで交流する食い違いの大きさを感じた。国際交流は難しいという印象が強く残った。</li> <li>・フォーラムでのやりとりのみであったが、英語の文章でのコミュニケーション方法がわかり、相手国の担当の先生と仲良くなれた気がした。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	自己紹介を書いた紙を持って、自己紹介を英語でビデオ撮影。フォーラムのメールに添付して送った。用紙には自分の名前、趣味や特技、夢を書いた。	UAE の小学生に自分のことを伝えようと、一生懸命作成した。ビデオは英語で自己紹介し、相手を意識して取り組んでいた。	総合
テーマ学習	10月～12月	10月は金沢の文化や歴史、自然など自国の魅力を調べ、英語で紹介した。フォーラムのメールに添付して送った。	調べたことで、自分でも改めて金沢の魅力に気が付くことができていた。紹介したいことを短くまとめ、英訳された文章を覚え、表情豊かに紹介できた。	総合
構図決定	10月11月	調べた伝統文化を持ち寄り、アートマイル実行委員の児童が中心となり構図を決定した。相手国担当先生とのフォーラムでのやりとりを行い、構図を決定した。	決定した構図に合わせて、実行委員を中心に下絵を作成した。最後につながる物を描きたいと「ハンドプリント」を押すことになった。どの児童も意欲的に考えを出し合っていた。	総合
壁画制作	11月12月	アートマイル実行委員が中心となり、下絵を描いた。その後、グループに分かれて、色塗りを分担した。	モダン金沢エリアやトラディショナル金沢エリアなどエリアごとに分かれながら壁画を作成。放課後や休み時間もつぶして作品に没頭する子も見られた。	総合
鑑賞・振り返り	2月3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品と共に記念撮影した。</li> <li>学年で、振り返りを発表した。</li> <li>フォーラムで相手国に報告した。</li> </ul>	UAE から届いたことに喜びを感じていた。相手校の児童が3人だったことに残念そうであったが、それでも「ハンドプリント」をつなげてくれたことに満足感を覚えていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	児童の振り返りシートでは金沢の文化についての詳しい記述が多く目立った。新たに気付けたことも多かったようだ。
異文化の理解	A	4	外国は遠くて自分には関係ないと思っていたのが、自分事として感じられたことが交流した最も大きな意義だったと思う。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	自己紹介、伝統文化紹介では、相手校へわかりやすく伝えようと、一生懸命練習していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	多くの情報の中から精選することには課題が残った。英語で紹介のため、情報の中から3～4文でわかりやすくするというハードルがあったことが、逆にまとめる力がついた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	実行委員を中心にグループごとに活動しきずなが深まった。しかし、相手校児童とは、直接交流ができず、深めるまでには至らなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	グループで役割分担を明確にし、互いに助け合いながら作業を進められた。
学習を追究する意欲	C	3	相手国に知らせたいという意識を持ちながら調べることで、できるだけわかりやすい内容を精選しながら調べることができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	3	金沢の自然や文化、名所を壁画に盛り込んだ。始めは慣れなかった絵具にも、だんだん慣れ、思いを込めて描くことができた。
作品を鑑賞する力	B	4	UAE から届いた壁画を鑑賞し、それぞれの思いを発表した。ハンドプリントを描いてくれたことに感動していた。